

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第177号
17. 9 .25

表紙

・いよいよみかんシーズン到来! 今シーズンより新たな生産者が加わります

P3

・活動報告 夏休み親子イベント「親子で作ろう! ソーラーカー」/ジャパンビューティプロダクツ生産者交流会/エスチャンネル
・組合員紹介 地場野菜

P2

・生産者と関西6生協のみんなで実現していく私たちの「温州みかん」

P4

・私たちのエネルギーを考える!
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記



生活クラブ関西6生協の青果統一取り組み(詳細は2面)スタートに合わせ、真夏の太陽が照りつける8月10日(木)、消費委員会のメンバー5名と職員で、今シーズンから取り組みを始める3生産者「アイワ研究会」「仲田尚志さん」「植田寛さん」と「豊共園」を訪問し、①生協と取り組みを始めたきっかけ、②どんな地域、③どんな人たち、④組合員へのメッセージを伺ってきました。⑤は、訪問した組合員の感想を併せて紹介します。

(聞き手:消費委員会担当常務理事 吉田 正美)



いよいよみかんシーズン到来! 今シーズンより新たな生産者が加わります

アイワ研究会 和歌山県日高川町・有田市

①「旧東部生協(現、生活クラブ大阪)」と晩柑(木成八朔、ネーブルなど)の供給を始めたのがきっかけで、以来30年の付き合いになります。
②紀伊半島の中部にあり、半島の一番西に突き出ている日御碕の南部で外洋に面しており、温暖で日照条件が良い土地です。
③40歳代から70歳代までの7軒の生産者団体で、柑橘類を中心に小玉スイカやトマトなども栽培しています。「アイワ研究会」とは、甘夏の「ア」、伊予柑の「イ」、早生温州みかんの「ワ」で、ただ価格の話をするだけの出荷団体ではなく、消費者(組合員)や環境地域を大切にしている栽培方法について一緒に考えていく団体であろうと名付けました。

④組合員と直接話し合いができる関係をつくっていききたい。今季は40年ぶりの大凶作となりそうですが、炎天下の中農作業に励んでいるので、たくさん食べてくださいね。
⑤園地に穴が開いていたのですが、イノシシがミミズを食べるために掘った跡だそう。除草剤を撒いていないからおいしいミミズがいるそうです。

仲田尚志さん 和歌山県下津町



仲田尚志さんのみかん畑見学の様子

①50年前にみかん栽培をしていた父の甥が農業中毒により死亡する事故があり、農業を大量に使う栽培方法に矛盾を感じた父は、裁判で協力してくれた京都大学農学部教授から「農業使用に反対するだけではなく、自ら農業を使わない栽培方法を考えなければいけない」との話があつたことをきっかけに、それから一緒に調査・研究をしてきました。その縁で「生活クラブ京都エル・コープ」にみかんを供給することになり、今でも京大ゼミの教授と学生が年に6回ほど調査や栽培体験に来ています。
②豊共園と同じ下津町でも山手であり、高地(海拔300mほど)のため虫が少なく、作業を軽減することができています。
③52歳でUターンして父親から農業を

継ぎました。それまではシステムエンジニアをしていました。
④山奥ですがぜひ来てください。
⑤仲田さんの園地は、どこまで行くのかと不安になるくらい、ひたすら山道をすすんだところにありました。とても日当たりが良く、見晴らしが良いところでした。

植田寛さん 大阪府岸和田市

①「旧アルファコープ(現、生活クラブ大阪)」に玉ねぎを供給して以来、40年の付き合いで、温州みかんは全量、生協へ供給しています。
②園地はエスコープ大阪の配達エリア内にあり、すぐ近くを配達のトラックが通っています。
③52歳までサラリーマンをしていました。今は家族で作業をしています。後継者はいません。後継者問題はどこでも深刻です。
④園地が近いので、組合員の皆さん、ぜひ草引きや収穫などのお手伝いに来てください。
⑤昨年、新たに200本のみかんの木を植えたそうです。

豊共園 和歌山県下津町

①エスコープ大阪の産直生産者第1号で、40年以上の付き合いになります。
②和歌山県の北西部にあり、下津湾に面した温暖で日当たりの良い土地です。
③3軒のみかん生産者の2代目が、先代

から受け継いだ土を大切に、みかん作りをしています。
④泉北生協時代には最大で約300トン供給していましたが(1991年には利用組合員約1万人で298トンを全量消費)。まわりのみかん畑はほとんどなくなっています。
⑤今年も年間を通して交流(草倒し、摘果、収穫など)しています。関西6生協約4万人のみかんとして、今年度は4産地合わせて約200〜220トンを出荷予定ですが、その7割近くが豊共園のみかんです。メインの産地として昨年よりも多い出荷量を計画しています。これからも豊共園のみかんを食べていきましょう!

**何十年ぶりの凶作の年!
生産者はがんばって
みかんを作っています。
作り続ける、食べ続けるために
「シーズン予約」を!**

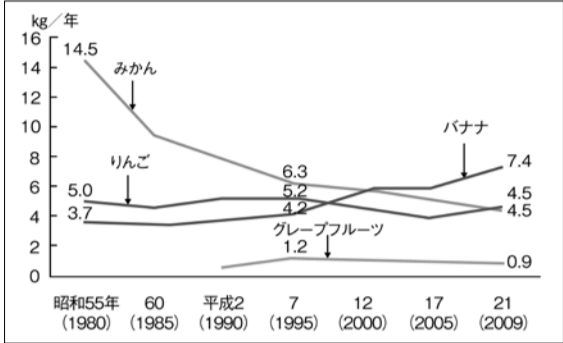
これまでは豊共園がエスコープ大阪の主なみかん生産者でしたが、今シーズンからは4産地に増え、12軒の生産者と取り組みを始めます。土地や気候などが違うため、摘果や収穫の仕方など栽培方法はさまざまです。しかし、生産者と直接話ができる関係性、おいしいみかんを作ろうという熱意は全産地共通です。

今年も全国的にも不作で、仲田さん以外の3産地でも何十年ぶりの凶作の年だそうです。約束した収量が確保できるか少し心配もありますが、私たちが食べたいみかんを生産者が作り続けられるよう、「シーズン予約」をして食べましょう。お届けはシーズン予約が優先されます。

生産者と関西6生協のみんな 実現していく私たちの「温州みかん」

食べる仲間と
つくる仲間が
増えました!

■主な果実の1人当たりの購入数量の推移



資料:総務省「家計調査」
注:グレープフルーツについては、平成2(1990)年から集計を開始

「コタツに入ってみかんを食べるのは日本の冬の風物詩でしたが、今では過去のこととなりつつあります。海外から安価な果物がどんどん輸入されるようになり、2000年にはバナナがみかんの消費量を抜いてしまっています。みかんの消費が減ってしまいました。そのため、みかん農家の生計が成り立たなくなり、次の世代の生産者が育たないまま、生産者が高齢化してしまつたという問題が起つています。

また、地球温暖化や異常気象(日照不足や集中豪雨など)の影響で、みかんを持続して作り続けることが厳しい状況となっております。



豊共園も 維持拡大していくために!

エスコープ大阪では、これまでも国内自給力を高める取り組みをすすめ、生産者とともに共同購入をすすめてきました。2013年には関西にある6つの生活クラブで統合事業が始まり、関西圏の食の自給ネットワークの実現をめざして「竜おうみ米」や「丹精國鶏」、「豚肉」など主要品目の統一化を順次すすめてきました。さらに、今年度から青果についても統一し、関西6生協の約4万世帯の食べる力により、生産と消費の関係を直に直し、より関係を強固なものにして、持続可能な生産と消費に取り組んでいきます。まずは青果統一第一弾として「温州みかん」の取り組みを始めます。



組合員と生産者が共に

これまで別々に取り組んでいた温州みかんを、関西6生協で統一して産地を維持拡大していきます。豊共園としては、供給先が2生協から6生協に拡大します。

私たちの望む食べものを食べ続けるためには、私たち組合員が責任を持って消費をすすめ、生産者が安心して生産できるようにしていくことが大切です。お互いの考えや想いを共有し、双方が課題に取り組むことで持続可能な提携関係の強化をはかります。スーパーの産直品とは違い、私たちの取り組みは、組合員も生産者もお互いの顔がわかる、そして直接話し合いをしながら消費材をつくっていくことができる関係にあります。

関西青果政策として、左記の基本方針を定めました。

関西青果政策(基本方針)

① 計画的な生産と消費の追求

関西6生協と生産者はそれぞれの役割と責任を果たし、継続発展が可能な生産地域の形成と消費力量の安定確立をはかります。

② 青果物本来の使用価値の追求

青果物が本来持つ価値・魅力を発揮できるように、生産者と生協双方が合意できる生活クラブの青果物ならではの栽培・出荷基準を作ります。

③ 適地適作、適期供給

旬と青果物本来の機能性を活かせる栽培形態と消費形態を追求します。

④ 生産者と組合員の交流推進

青果物の生産に要する時間・空間に対する理解を深め、生産と消費の関係を紡ぐ取り組みを広げます。生産者と組合員の定期交流により、双方の抱える課題を出し合つて、共同して問題解決をはかります。

⑤ 生産者の自立運動への連帯

生産者の栽培技術向上や研鑽の努力を応援し、農業を通じて地域自立をめざす生産者の取り組みに連帯します。

「シーズン予約」で食べよう!

温州みかんはカタログで注文もできますが、「シーズン予約」で利用することで消費量を見通すことができ、生産者は安心してみかんを出荷することができます。

温州みかんは年内に収穫し貯蔵をします。適期に食べることをめざし、これまでよりも供給の終了時期を早めることで、早めにおいしく食べられます。年明けには早期中晩柑(伊予柑・早生不知火・スイートスプリング)の新規取り組みがスタートします。お楽しみに!

温州みかんをはじめ、青果のおいしさや品質、栽培内容の向上にも関西6生協の組合員が直接関わり取り組んでいきます。



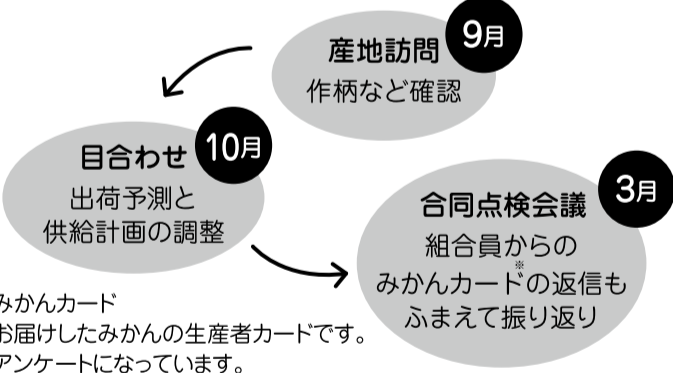
関西圏4万人の連帯で

関西6生協青果委員会

関西6生協の組合員と「(株)生活クラブ関西」の業務担当職員、必要に応じて生産者も参加し、関西運営委員会が決定した関西青果統一推進材の内容確認、計画生産・計画消費に向けての目標確認と利用推進の検討をします。次のシーズンに向けた検証、統一推進材の栽培基準の調査学習や意見交換もおこなっていきます。



第1回関西6生協青果委員会の様子



※みかんカード
お届けしたみかんの生産者カードです。アンケートになっています。

今シーズンから変わります!

① 供給の終了が早くなります

43週スタート、2018年3週まで

温州みかんの収穫は年内に終わります。私たちの生産者は極力農薬を減らして栽培し、貯蔵のための殺菌剤を使っていないため、年を越すと浮皮の発生やカビも生えやすくなります。適期に食べ切ることで、生産者の負担も減らすことができます。温州みかんの終了後は早期中晩柑を楽しみましょう。

※43週のお届けはシーズン予約の2kgのみです。

② お届けの形態が変わります

物流コストを削減し価格上昇をできる限り抑えるためにお届けの形態を変更します。1kg、2kgはそのまま袋詰め。5kgはハーフ折りコン、10kgは折りコンに入れてのお届けになります(年末週は除く)。

※ギフトと年末週はダンボール箱でお届けします。



▲5kg ハーフ折りコン



▲10kg 折りコン

③ 価格は6生協で統一します

<今年生産者と確認した価格>

シーズン予約	2kg	565	円(税込610円)
	5kg	1,280	円(税込1,382円)
	10kg	2,360	円(税込2,549円)
カタログ注文	1kg	309	円(税込334円)
	2kg	586	円(税込633円)
	5kg	1,343	円(税込1,450円)

自然エネルギー大好き委員会
夏休み親子イベント
親子で作ろう！
ソーラーカー
 8月19日(土)
 生協本部(堺市南区)
 自然エネルギー大好き委員会
 井上 里紗



エネルギーを知ろう、感じよう！
未来につなげよう！

私たちがすすめている自然エネルギーをもっと身近に感じてもらうために、太陽光で走るソーラーカーを親子で作る企画を夏休みに合わせて開催し、大人28名、子ども33名が参加しました。

前半の工作では悪戦苦闘しながらも親子で協力してキットを組み立て、完成して車輪が勢いよく回った瞬間にはうれしそうに笑顔と歓声がわき上がりました。

後半は親子別々の部屋に分かれ、子どもたちはソーラーカーを太陽光に照らして走らせたり、投光器など他の光でも走るか試してみたりと、思い思いに自作の車で楽しみました。

大人は「自然エネルギーと省エネ」の講座として「一般社団法人グリーンファンダ秋田」の西村明子さんのお話を伺いました。グリーン

ファンダ秋田は、生活クラブの首都圏組合員が設立し、「生活クラブでんき」の発電所にもなっている秋田県にかほ市の風車「夢風」を運営しています。化石燃料や原発

が生む弊害、地球温暖化の現状、「夢風」設立までの経緯や「生活クラブでんき」の基本的な仕組みなど、電気に関する話を聴く機会の少ない方にも分かりやすく伝えていただきました。中でも省エネに取り組みむことが「節電Ⅱ発電」になり、100ワットの節電を1千万人が実践すれば100キロワット(原発

1基分)の「節電所」になるという驚きの発想には、皆さんも一様にうなずかれていました。今回は電気を知るきっかけ作りでしたが、今後も引き続き「エネカフェ」を通じて自然エネルギーへのシフトチェンジの重要性と、その第一歩として「生活クラブでんき」への切り替えをおすすめしていきたいと思えます。

「エスチャンネル」で拡がる活動する仲間

泉北ニュータウン地域
エスチャンネル
 第1回目 5月31日(水)
 第2回目 7月19日(水)
 生協本部(堺市南区)

泉北ニュータウン地域理事
 庄野 明子
 泉北ニュータウン地域委員
 仲村 万希子



手作りの廃油せっけん

士の情報交換の場で、1年間登録したメンバーで「知りたいたい！ことについて調べて疑問を解決したり、「やりたいたい！」ことを実現しています。今年度は登録者6名で始まりまし

「エスチャンネル」は、地域で活動する仲間づくりの場として全地域委員会で開催しています。泉北ニュータウン地域では、食の安心・安全が気になる、ナチュラルライフに興味があつてス

キルアップしたい...そんな組合員同士の情報交換の場で、1年間登録したメンバーで「知りたいたい！ことについて調べて疑問を解決したり、「やりたいたい！」ことを実現しています。今年度は登録者6名で始まりまし

コスメ専門委員会
ジャパンビューティプロダクツ生産者交流会
 7月7日(金)
 和泉シティプラザ(和泉市)

南河内地域理事
 (コスメ専門委員会担当) 梶川 愛



生活クラブのこだわり化粧品

生活クラブの化粧品生産者のひとつ、「(株)ジャパンビューティプロダクツ」(以下、JBP)を招いて、「夏の崩れにくいメイク術」と題した学習会を開催しました。

JBPは化粧品メーカーなどからの依頼を受けて企画立案やデザインを含めた化粧品の開発・製造をおこなう専門メーカーです。すべて外注の化粧品会社もある中、原料の調達から、開発・製造・品質管理までを一貫して自社でおこないつつ、新たな化粧品開発も積極的に行っています。その中で、生活クラブの組合員と共に開発した消費材の基礎化粧品『ルリーフェ』シリーズは、①天然保湿因子を配合、②天然ハーブエキス配合、③心地よい使用感、④6つの無添加(旧表示指定成分・紫外線吸収剤・香料・着色料・鉱物油・パラベン)が特徴です。生活クラブのカタログだけでしか買えないので要チェックです。メイクアップシ

リーズの『ビマシエ』は、アレルギーや皮膚病、内臓疾患の原因や発ガン性が疑われる種類もあるタール系色素を不使用という徹底ぶり。品質へのこだわりや情報開示にしても、まさに生活クラブらしい消費材だと確信する学習会でした。

夏の崩れにくいメイク術としては、まず肌を水分でしっとり整えてからメイクすること、シワになりやすい皮膚の薄い目元などはうすうす油分をつけることが、崩れにくくシワにもなりにくいメイクのポイント。また、ナチュラルなファンデーションの下地を塗り光沢感を出してからリキッドファンデーションをスポンジで薄く伸ばすのがおすすめです。厚塗りは崩れやすさの原因です。なによりもまずお肌の清潔が一番大切です。夏に限らず一年中老廃物が出るので、ノーメイクの人もクレンジングはした方がよいとお話も伺いました。お話を聞いていてすぐにでも注文したくなるアイテムばかりでした。カタログをお見逃しなく!!

簡単でした。簡単なナチュラル掃除と合成洗剤の危険性などについても話し合いました。皆さんせっけんの良さはご存知で、上手に使うために工夫しているコツを持ち寄りしました。2回目はメンバーの「農薬について知りたい!」というリクエストにこたえて「夏野菜ランチと農薬について」。遺伝子組み換え技術が発達し、遺伝子レベルで虫向けの毒を仕込んだ農作物など、調理の際に皮をむいたりしても除去が難しい時代。メンバーには自分で野菜を作っている人も多く、無農薬栽培の難しさ、夏野菜

※天然保湿因子は単一の成分を指すものではなく、人がもともと持っている保湿成分のことでアミノ酸やミネラルなど、水となじみが良く水分を抱え込む機能がある成分の総称。

作りの極意なども教わることで、どこで誰が、どのように生産したものなのか、が大事」という思いを共有しました。「旬菜セット」のトマトを使った「丸ごとトマトの炊飯器ピラフ」も好評でした。

エスコープ大阪のこだわりを体験できる「エスチャンネル」では、みんなで決めたテーマを参加者主体でじっくり掘り下げていくので、私たち地域委員も学びがあり、刺激になります。託児もありますので、小さいお子さんのいる方も大歓迎です!

私たちの『旬菜セット』はね...

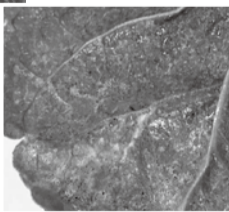
春夏野菜

「うまい菜」の結果と「唐ちしゃ」の評価



うまい菜畑の様子 (7月19日)

ダニの被害にあったうまい菜。葉に黄色や白のまだら模様や縮れが所々あり、裏は茶色の細かい点がありました。



【うまい菜】6月の間引き作業の後、残念ながらダニが発生して成育も悪く、出荷を断念しました。同じハウス内のエンドウ豆に発生したダニが移ってしまつたためです。今回は7月出荷予定でしたが時期を早めて栽培できる

ので、来年は露地栽培でセット野菜が少なくなる5月頃の出荷で再チャレンジしようかと、生産者の中村さんと相談しました。【唐ちしゃ】前回の報告通り25週(6月26日)に358束を供給し、アンケートを回収しました。味は「普通くおいしい」の評価がほとんどで、量も「ちょうど良い」の評価がほとんどでした。皆さんからは和え物、サラダ、素材を巻いてなど、いろいろな食べ方も紹介していただいたり、「青菜がない時期なのであると嬉しい」との声もありました。来年から本格供給できるか「菜食ファーム」と調整していきます。

泉州地域に引越してこれた間もない竹田さんは、組合員歴は浅いのですが、お母さんが組合員だったこともあり、エスコープ大阪のことは子どもの頃からよくご存じです。加入を考えたのは、離乳食を作り始めた頃、仲の良いママ友からエスコープ大阪を紹介されたことがきっかけでした。「エスチャンネル」に1年間登録し、油のことなど今まで知らなかったエスコープ大阪のこだわりを学びました。これからは生産者のことや

紹介します!!
 うちの地域の組合員さんです

いろいろ勉強になりました
「エスチャンネル」



竹田 裕美さん
 [泉州地域]

消費材のことをもっと知りたいそうです。竹田さんイチオシの消費材は、せっけん類です。お子さんが生まれた時に「赤ちゃんせっけんプレセント」でいただいた「洗剤用無添加せっけん(針状)」を使ってみて、せっけんの良さを実感されました。今では台所やお風呂でも生活クラブのせっけん類が大活躍しているそうです。

6月からは、泉州地域委員会の環境パートナーとして活動されており、積極的に発言をしながら、会議や企画にも関わっておられます。環境のこと、食べ物のこと、福祉のことなど一緒に考えて伝えていく仲間として、これからも活躍を期待していきます。聞き手 山路登葉(泉州地域理事)



第4回 理事会報告 <8月2日>

【6月度決算報告】

- 供給高 2億188万円(前年同月比105.66%)
- 組合員数 18,702名(前月比11)
- 一人あたりの出資金 80,496円

【7月の放射能検査結果】

7月は連合消費材704検体の放射能検査を実施しました。またエスコープ独自の消費材については2検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①次年度方針の立案に向けて
- ②12月理事会の日程変更
- ③「エスコープまつり2017」の経費予算状況と対応策について
- ④主要課題集会、新加入者集会の第1四半期中間まとめ、今後の活動について
- ⑤竜おうみ米19RY(18年度産)の計画数(契約量)提案
- ⑥「生活クラブ福祉事業基金」実行計画と「福祉たすけあい助成制度」の改定についての意見集約
- ⑦消費委員会企画の予算外執行と追加予算申請について
- ⑧地域委員会企画の予算外執行について
- ⑨地域委員会から理事会への提案
・「NPO法人 ワーカーズ・コレクティブはんど」のリーフレット 配布依頼について

【報告承認事項】

- ①理事・監事の安否確認サービス登録について

「生活クラブでんき」の発電所が増えました
私たちは持続可能(サステイナブル)な未来を子どもたちに手渡すことをめざして、放射能問題を切り離せない原子力発電や地球温暖化の原因となるCO₂を排出する化石燃料による火力発電などに頼らないために、再生可能エネルギーによる発電をすすめています。事業所の屋根に太陽光パネルを設置することに始まり、秋田県にかほ市の風力発電所、栃木・群馬県の太陽光発電所など自



私たちのエネルギーを考える!



再生可能エネルギーを増やす取り組み

前の電源を増やしています。また既存の発電会社から再生可能エネルギーで発電した電気を購入しています。今年9月からは「会津電力(株)」が加わり、「生活クラブでんき」の発電所は44カ所になりました。

他人任せにせず自分たちでやるしかない

会津電力を立ち上げた佐藤彌右衛門さんは、福島県喜多方市で江戸時代から200年以上続く「大和川酒造店」の9代目当主です。会津地方の名水と、土づくりに手がけた酒米で「本物の地酒」を作っています。地域を愛し、まちおこしに打ち込んできた佐藤さんは、福島第一原発事故の後、米や酒を製造するための電気や石油は県外から買っていたことに気づきました。会津には豊富な水力資源がありエネルギーを自前でまかなえるのに、電力会社に独占されて利益を奪われていて、原発事故が起きて、国も電力会社も誰も責任を取らないことに対する怒りが原動力となって、奪われていた古郷の資源



会津電力(株)のロゴマーク
右(親指)から緑色:バイオマス
赤色:地熱、水色:風力、オレンジ色:太陽光、青色:水力

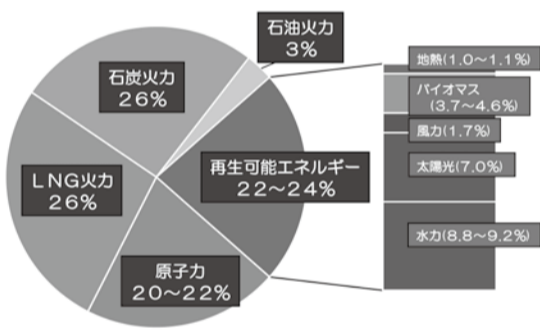
を取り戻すために自分たちがやるしかないと思いついたのです。経済合理性だけを優先すれば大規模な開発をしたほうがもうかるのですが、地域貢献のために小規模分散型にこだわっているそうです。

会津電力のロゴには5つの色が施されています。電気は目には見えないかもしれないけど、実は色があるのだと佐藤さんはおっしゃいます。黒い電気は使いたくないですね。

同じ過ちを繰り返さないために

国の中長期的なエネルギー政策の方向を示す「エネルギー基本計画」の見直しが今年おこなわれます。2014年に決定した現計画では、原子力発電は「重要なベースロード電源」と位置付けら

れ、2030年度の電源構成比率を20〜22%とすることになっています。新増設を見越した原子力発電所の将来的な必要性の議論がなされそうです。福島第一原発事故以降、世界では脱原発・再生可能エネルギーへの転換がすすんでいます。再生可能エネルギーのコストの低下、技術進歩による省エネルギーの進展もあり、政府が再生可能エネルギー推進に方向転換さえすれば、原子力発電所が必要なくなることは明白です。



<2030年度の電源構成 政府案>

私たちは再生可能エネルギーをすすめるなら、原子力発電所の新設と再稼働に断固反対します。

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

174号表紙「エコロ制度を語ろう」を読んで

ペンネーム:ありがとうさん(河内長野地域)

高齢になって困ることのひとつに電球の取り替えや、ちょっとした庭の水栓の不具合(プロを頼む程度でもない)などがあります。定年退職で時間のあるご主人方、「エコロ制度」で助けていただけるとありがたいな一と思いますが、いかがでしょうか。

★たくさんの方に関わってもらえると嬉しいです。現在、エコロ制度に参加でき、ケアできるのは組合員本人のみです。将来的に組合員家族のケア参加などでもできるよう加入者を増やし、制度の見直しも考えていきたいです。

福祉・コミュニティ担当常務理事 吉田 正美

174号を読んで

藤山さん(泉北ニュータウン地域)

堺市に家族で移り住んで29年。公団のピロティで住人の方々の分け合い活動を見かけて生協を知り、安全で新鮮な食材という点がとてもうれしく、すぐ加入してから、生協は家族全員にとって必要不可欠な存在です。なければ生きていけません。これからも職員と組合員の皆さまと共に子や孫のため、安心できる暮らしをバックアップし続けていけるよう祈っています。

エコロ制度 8月度報告

加入者数 1170名

組合員活動を支えるためのケア	3件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	1件
リフレッシュのためのケア	2件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	1件

エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
10月19日(木) 10~12時	スマートスマイル(堺市街地地域)
10月11日(水) 10~12時	大阪狭山市立コミュニティーセンター(河内長野・大阪狭山地域)
10月17日(火) 10~12時	さつき野東集会所(南河内地域)
10月4日(水) 10~12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
10月3日(火) 10~12時	和泉市コミュニティーセンター(泉州地域)
10月3日(火) 10~12時	ほーぷサロン(泉北NT地域)

*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

今シーズンからみかんの産地が増えることに伴い、消費委員会産地を訪問しました。今回は「アイワ研究会」の生産者3名のみかん畑4カ所と下津の仲田さん、泉州の植田さんの計6カ所の畑を見学しました。おなじみの「豊共園」のみかん畑とはまた少し違った雰囲気畑で、それぞれのこだわりも感じることができ、これから届くみかんが楽しみになりました。暑い日に朝早くから夕方遅くまで1日かけて見学して、しっかり日焼けしてしまい皮もむけました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022
http://s-osaka.seikatsuclub.coop/

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
177号(2017.9.25)

(ペンネームOK)

●地域名 _____ ●お名前 _____

●組合員コード _____ ●班名 _____